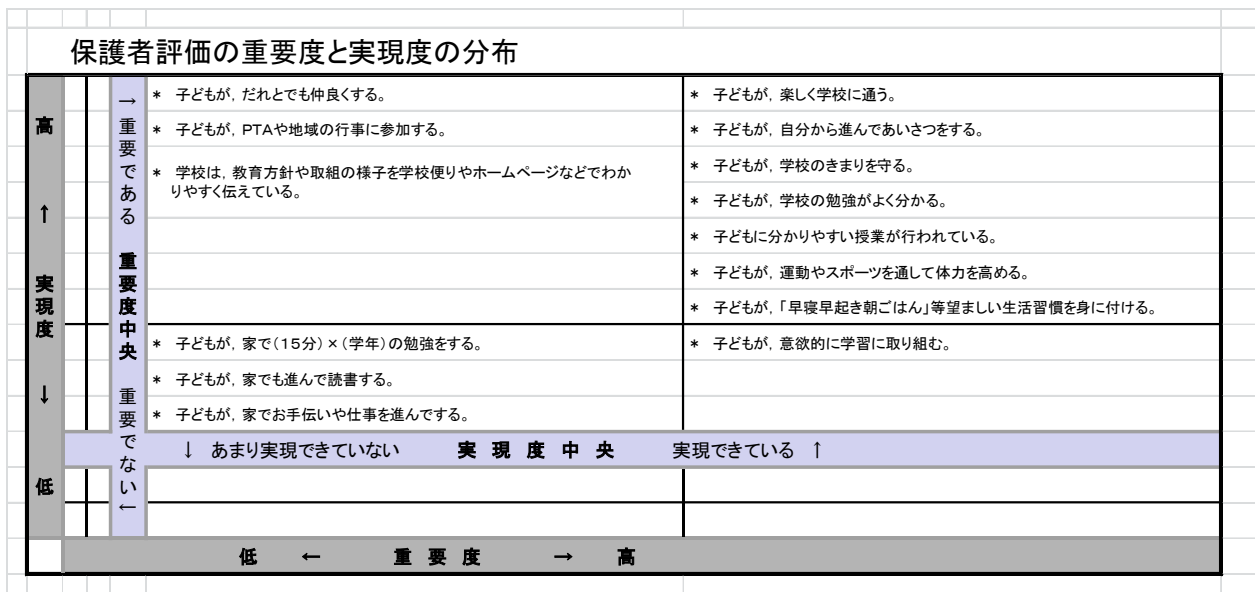


平成 28 年度前期

学校評価アンケートの結果より

霜寒の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご協力いただきありがとうございます。10月に実施致しました「前期学校評価アンケート」の結果についてお知らせいたします。ご協力ありがとうございました。

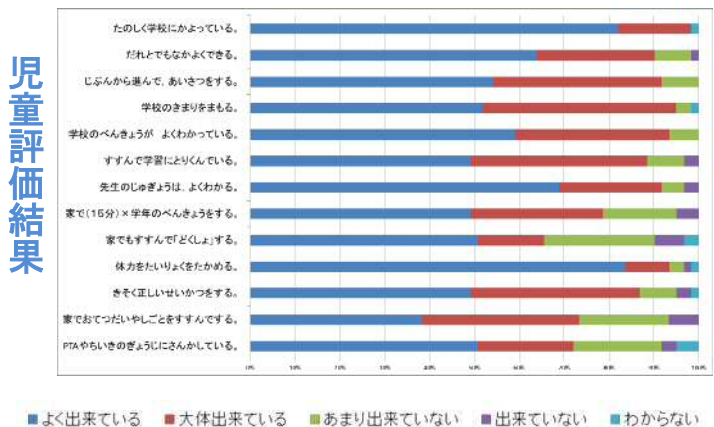
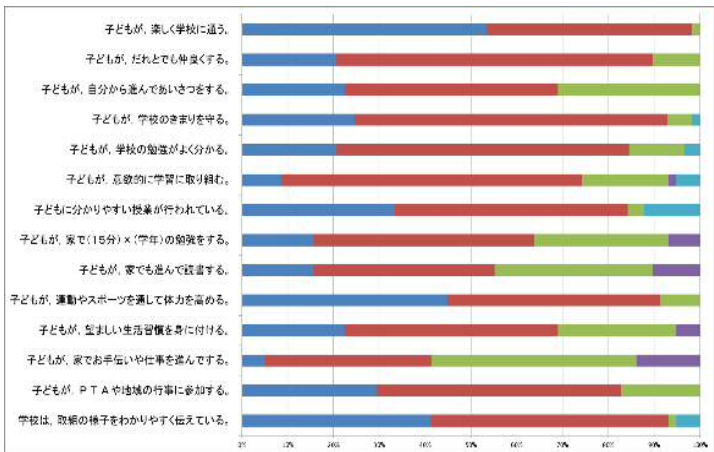


【保護者重要度と実現度の分布結果について】

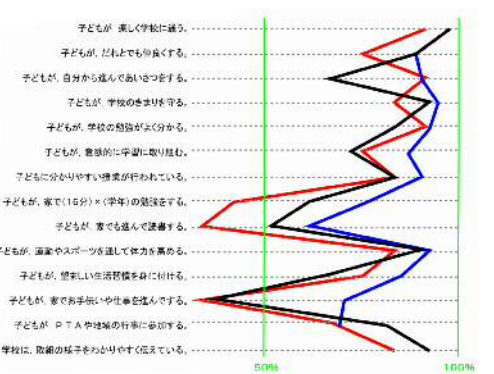
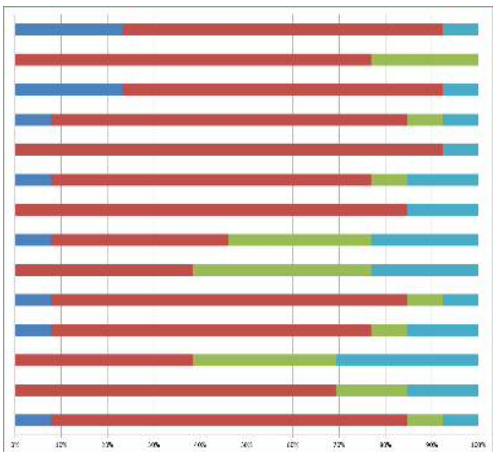
「重要度」について、今回の調査もすべて中央より右側に集まりました。今回の項目について、重要でないものはないとの結果です。また、それらがどれくらい実現されているかを示すのが「実現度」で、これは図の右側に行くほど実現できているという結果を示します。これら「重要度」と「実現度」とを関連付けて、それぞれの項目がどのような分布になったのかを示すのが上の図です。今回、最も重要でしかもよく出来ている（最も右、最も上）に7項目入り、やや重要である項目では3項目がよく出来ているという結果となりました。一方、およそ出来ていることを示す上から2番目のわくに入った項目は、「意欲的に学習に取り組む」「家で15分×学年の勉強をする」「家でも進んで読書する」「家でお手伝いや仕事を進んでする」の4項目でした。勉強に関わることと、家での様子に集中する結果となりました。

【平成 28 年度前期学校評価（実現度）結果】

保護者評価結果



教職員評価結果



【保護者・児童・教職員それぞれの「よく、大体出来ている」合計の割合比較】

【項目ごとの実現度の結果について】

今回のアンケート項目は14項目（児童は13項目）でした。保護者、教職員、児童それぞれの結果を上を示しました。また、それぞれの「よく出来ている」と「大体出来ている」という肯定的な回答を合わせたパーセントをそれぞれに色を変えて重ね、比較したものです。これを見ると、よく出来ていること、逆にあまり出来ていないことの感じ方は三者ともよく似た傾向であることがわかります。評価が低かったのは、「家でも進んで読書する」という項目と「家でお手伝いや仕事を進んでする」という2項目でした。次に低かったのが「意欲的に学習に取り組む」となっています。

特徴的だったのが「自分から進んであいさつをする」という項目で、教職員・児童の評価は約90%なのに対して、保護者評価は70%弱と20%の開きがありました。子どもたちがこれまで以上にあいさつしている姿を評価するか、頑張っているのかもしれないけれどまだまだですよという感じなのでしょうか。とはいえ、少し前進している様子はいかがえます。

## 【学校運営協議会の皆さんから】

- ・学力テストの結果が市の平均を大きく上回っていることは喜ばしいことである。さらに頑張ってもらいたい。
- ・漢字の力などは字引を引くことにより高まるのではないか。コンピュータで簡単に調べられる時代になったとはいえ、言葉や漢字を知らなければ正しいものを選ぶことができない。どんどん字引を引かせてやってほしい。
- ・（あいさつについて）以前は地域の中で会った人には誰とはなしにあいさつをしていたもので、そうなればいいと思うが、今の時代子どもの安全との兼ね合いで難しい面もあるのでしょうね。
- ・生活習慣の要は家庭である。親の働き掛けなしに望ましい生活習慣は獲得できない。
- ・スポーツなど子どもが主役になるような地域行事には多くの参加があるが、クリーンキャンペーンのような行事にはあまり参加してくれない。保護者が子どもを連れて参加するようになれば、子どもと地域社会との関わりも生まれる。こういった発想も大切にしたい保護者の協力をお願いしたい。

## 【学校をより良くするために】

### 《確かな学力の育成に向けて》

各種のテスト結果については、全体として良い結果を維持できており、学校での授業改善の取組の成果が表れているといえます。ただ、より確かな学力や 21 世紀型能力を育成するため、更なる授業改善や新しい学習の取組を進める必要があることは言うまでもありません。また、これらの学力や能力は学校の力だけで身に付けられるものではありません。「勉強は学校におまかせ」ではなく、「学校ではこういう勉強をし、家庭ではこういう勉強をする。」というような連携が図れることが大切です。そのため学校では

- ・算数科を中心に子どもたちが進んで学習に取り組めるよう学習を工夫すること。
- ・よりわかりやすい授業を行うよう工夫すること。
- ・読書に親しむよう児童に働きかけること。

等に取り組めます。

また、学校で学んだことをしっかりと定着させるための学習を、家庭で（放課後まなび教室や学童ではなく自宅という意味です）一定のまとまった時間、学習できるようご協力をお願いします。具体的には、

- ・漢字・計算などを繰り返し学習すること。
- ・既習の問題をいくつも解くこと。
- ・自分の興味関心に応じ、自分で決めた学習に取り組むこと。

- ・読書に親しめるようお子達に働きかけること。

等について、宿題や教科書や市販の問題集などを利用してお取り組みいただければよいと思います。

### 《豊かな心・健やかな体を育てるために》

「楽しく学校に通う」「誰とでも仲良く」に高い自己評価をしている子どもたちです。この結果がさらに高まるよう、子どもたちの心を耕す「友だちの日」の取組や「友だちグループ」での活動をより一層進めます。また、「あいさつ」について、学校ではこれまでの声掛けを継続していきます。“生活習慣を身に付ける要“である家庭では、「おはよう」「ってきます」「ただいま」「いただきます」「おやすみなさい」などの言葉が当たり前のように交わされるよう、親子で取り組んでいただければと思います。

今回の結果を踏まえ、八瀬小学校がより良い学校となるよう、具体的な取組を進めていきます。保護者・地域の皆様のご協力をお願い致します。